

## 第4回 特定医療法人佐藤会 弓削病院

## 治験審査委員会 議事録概要

開催日時	2018年7月11日(水)14:30~15:30	
開催場所	特定医療法人佐藤会 弓削病院 図書室	
出席委員名	山城佐知、池田倫子、白濱良一、三村絵美子、磯田和也 長嶺幸弘、園田由香里、桂木正一、高本裕志、松浦弘樹	
欠席委員名	なし	
議題及び審議結果を含む主な議論の内容		
【審議事項】		
議題1	<p>治験依頼者：大塚製薬株式会社</p> <p>治験課題名：アルツハイマー型認知症に伴うアジテーションに対する ブレクスピプラゾール(OPC-34712)の有効性、安全性を 検討する、多施設共同、プラセボ対照、無作為化、二重 盲検、並行群間比較試験</p> <p>新規受託について治験を実施することの妥当性について審議</p> <p>審議結果：承認</p>	<p>マスキング 理由</p>
議題2	<p>治験依頼者：大塚製薬株式会社</p> <p>治験課題名：統合失調症患者を対象とした3種類の Brexpiprazole (OPC-34712)週1回製剤(QW製剤)を単回経口投与 したときの薬物動態、忍容性及び安全性を比較検討す る多施設共同、非盲検、臨床薬理試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告、治験実施計画書改訂、 参加カードについて、引き続き治験を実施することの妥当性について 審議</p> <p>審議結果：承認</p> <p>依頼者から提出された治験実施計画書別添資料について報告</p>	
議題3	<p>治験依頼者：塩野義製薬株式会社</p> <p>治験課題名：塩野義製薬株式会社の依頼による児童思春期うつ病患 者を対象としたLY248686(デュロキセチン塩酸塩)の 第Ⅲ相試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告について、引き続き治験 を実施することの妥当性について審議</p>	

	結果:承認	
議題 4	<p>治験依頼者：塩野義製薬株式会社</p> <p>治験課題名：塩野義製薬株式会社の依頼による児童思春期うつ病患者を対象とした LY248686 (デュロキセチン塩酸塩) の継続長期第Ⅲ相試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議</p> <p>結果:承認</p>	
議題 5	<p>治験依頼者：大日本住友製薬株式会社</p> <p>治験課題名：SEP-363856 の日本人統合失調症患者を対象とした反復投与試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議</p> <p>審議結果:承認</p>	
議題 6	<p>治験依頼者：Meiji Seika ファルマ株式会社</p> <p>治験課題名：ME2112の統合失調症患者を対象とした検証的試験(第Ⅲ相)</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議</p> <p>審議結果：承認</p>	
議題 7	<p>治験依頼者：ルンドベック社</p> <p>治験課題名：Early-in-disease 又は late-in-disease の治療抵抗性統合失調症患者を対象とした Lu AF35700 の有効性を検討する介入、ランダム化、二重盲検、実薬対照試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告、同意文書改訂について、治験を実施することの妥当性について審議</p> <p>審議結果：承認</p>	
議題 8	<p>治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社</p> <p>治験課題名：MT-5199 の遅発性ジスキネジア患者を対象とした検証的試験及び継続長期投与試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告、治験実施計画書改訂、同意説明文書改訂について、治験を実施することの妥当性について審議</p>	

	<p>治験責任医師より提出された実施状況報告書により、引き続き治験を継続することの妥当性について審議</p> <p>審議結果：承認</p>	
議題 9	<p>治験依頼者：日本イーライリリー株式会社</p> <p>治験課題名：日本イーライリリー株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症を対象とした LY3314814 の第Ⅲ相試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告、開発の中止等に関する報告を受け、本治験を中止することの妥当性について審議</p> <p>審議結果：承認</p> <p>中止レターについて報告</p>	
議題 10	<p>治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社</p> <p>治験課題名：日本人の治療抵抗性うつ病患者を対象に、固定用量の esketamine を鼻腔内投与したときの有効性、安全性及び忍容性を検討するランダム化、二重盲検、多施設共同、プラセボ対照試験</p> <p>依頼者から提出された安全性に関する報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議</p> <p>審議結果：承認</p>	
特記事項	特になし	